

「小樽雪あかりの路」

北海商科大学医務室 二瓶 妙子

みなさん、今晚は～、いえ、こんにちは。ただ今私は小樽の現場からの画像を送ろうとしています。

北国は、大雪でどこもかしこも雪で埋まっています。本州の方では「雪害」に犠牲になられた方もいて大変残念ですね。でも、北海道は慣れているので、まだ大丈夫そうです。「さっぽろ雪まつり」も、ちょっと暖気で雪像が解けそうになり心配されましたが、無事に終えることができ、終了翌日には、もう跡形もなく消えていました。「さっぽろ雪まつり」には行けませんでした、「小樽雪あかりの路」は満喫してきましたので、その時の写真をお送りします。写メなので、会場の賑やかさは伝わりませんがほのぼのとした「ぬくもり」の雰囲気だけでもお届けできればと思います。

2014 小樽雪あかりの路 2月7日～16日開催 キャンドル点灯 17:00～21:00

			<p>冬の風物詩 小樽雪あかりの路</p> <p>小樽運河倉庫群</p> <p>旧幌内道-手宮線、廃線跡地</p> <p>述べ、4万本もの灯りが夜の小樽を幻想的に照らします。</p>
			<p>雪あかり続く。 一つ一つ手作りの灯りが延々と．．．</p> <p>フクロウ 灯籠 ゆきだるま など、大小のキャンドル</p> <p>述べ2000人のボランティア・スタッフが準備をしてきました。</p>
			<p>たくさんの人たちが行き交い、 ちょっと渋滞も。</p> <p>そこは譲り合って、会釈などしてやり過ごす。</p> <p>イベントの定番、 甘酒のいい香りに思わず誘惑されそうに。</p>



ところどころにある休憩コーナーでは、
わざわざインドネシアから来たという女性が
「温ってまって行って！」と声を掛けられ
お茶でちょっとお国談義。

今年は昨年よりグレードアップしてました。
凝った灯りがいっぱい！
もう、子どもたちは大喜びです。

何とも「ほのぼの」としたお祭りでした。

全部は伝えきれませんので、是非、幻想的な「あかり」を小樽で体感してみてください！